

のです。後になつて、賤子しずこの残された子供たちが、

「私たちの生き方には、幼いころの会津藩あいつはんの教えが、しみついているのかもしれない。」

と言つていますが、賤子の生き方には、会津人としてのかたくななまでのほげしきがあつたようです。幼いころ、養母ようぼの親切をあくまでこばんだかし子のしんの強さは、そのあらわれであつたのかもしれない。

美しい日本

賤子の文章は、英語で書かれたものもあります。外国むけに作られていた、『日本伝道新報』にほんでんどうしんぼうという英語の新聞に、賤子はいろいろな文章を英語で発表しています。